



薫っ子 II



文責 校長 古川 次男

「確かな学力」の育成

4月6日に今年度が始まり、あっという間に1ヶ月が過ぎてしまいました。令和4年度の12分の1が終わってしまったところです。

さて、本校では日々の授業を通して「確かな学力」を薫っ子に付けたいと考えて、努力しているところです。4月19日(火)には、本校6年児童も全国学力学習状況調査に取り組んだところです。昨年度と同調査より郡山市内の授業改善のポイントとして、下記の5点があげられています。

- ① 学習したことをもとに自分の考えを持つ場面と、その考えを友達に説明したり、文章にまとめたりする時間を設けましょう。
- ② 「〇〇について触れること」「〇〇という言葉を使うこと」など、条件に合わせて書く場面を設けましょう。
- ③ 学習したことを違う条件や場面に当てはめて確かめる、学習したことを活用してさらにレベルの高い課題に挑戦するなど、補充的・発展的な学習の時間を設けましょう。
- ④ ①②③などについて子どもたちの十分な活動の時間を生み出すため、単元や単位時間の構成を工夫するなど、授業のスリム化を図りましょう。
- ⑤ ロイロノートを活用して活動の効率化・短縮化を図る、タブレットドリルを活用して個に応じた学習を行うなど、ICTを効果的に活用しましょう。

上記の5点については、昨年度からも取り組んでいるところですが、今年度も引き続き力を入れていきたいと考えています。また、家庭学習の約束も「かおるっ子の学び はじめの一步」(下記5・6年用抜粋)で、お知らせしているところです。

(1) 家での学びの準備

- 勉強を始める時間と場所を決めましょう。
- テレビは消して、集中して取り組みましょう。

(2) 家での学び

- 家で勉強する時間を守りましょう。
5年生は60分、6年生は70分以上です。(中学生は学年+1時間です。)
- 連絡帳で、宿題を確かめましょう。
- 宿題が早く終わったら、自主学習に取り組みましょう。
 - ※ 日付、取り組んだ時間、めあて、振り返りを必ず書きます。
 - ※ 授業でわからなかったことをノートや教科書を見直して復習します。
 - ※ 学習したことから関連する課題を決めて自主的に取り組んだり、同じような問題に取り組んだりします。
 - ※ 次に学習する内容を教科書を読んだり問題を解いたりして予習してのぞみます。